

第614回ロータリー富山西例会. 1984, 10, 富山.

3) 篠山重威: 労作兼安静時(異型)狭心症. In case reports (ニトロールR), 加藤和三編, 192—193, Excerpta Medica, 1984.

4) 高田正信: C a⁺⁺拮抗剤で効果不十分な症例にセロケンを追加し奏効した症例. 医報フジ, 53: 33, 1984.

5) 余川 茂, 麻野井英次, 井内和幸, 秋山 真, 中曾根泰二: 虚血性心疾患におけるロコルナールの使用経験. 北陸地区M. R. C. の会, 1984, 7, 富山.

内 科 学 (3)

教 授	佐々木	博
助 教	井 上	恭 一
講 師	田 中	三千雄
講 師	中 野	護
講 師	小 島	隆
助 手	市 田	隆 文
助 手	藤 倉	信一郎
助 手	樋 口	清 博
助 手	紺 田	健 彦
助 手	松 井	俊二郎
助 手	康 山	俊 学
文部技官	桑 原	芳 弘

◆ 著 書

1) Takeuchi J., Kasai Y., Sasaki H., et al. (The Liver Cancer Study Group of Japan): Primary liver cancer in Japan, Cancer, 54: 1747—1755, 1984.

2) 佐々木 博: 胆汁うっ滞性肝炎. 「内科シリーズ N o. 41 ウイルス肝炎のすべて」織田敏次編, 285—297, 南江堂, 1984.

3) 佐々木 博: 慢性肝炎・ルポイド肝炎. 「内科学 3, 第 3 版」上田英雄他編, 631—634, 朝倉書店, 1984.

4) 佐々木 博: 胆汁うっ滞. 「内科学, 第 3 版」上田英雄他編, 648—652, 朝倉書店, 1984.

5) 佐々木 博: 慢性肝炎. 「今日の内科学」宮本昭正他編, 720—723, 医歯薬出版, 1984.

6) 佐々木 博: ルポイド肝炎. 「今日の内科学」宮本昭正他編, 723—724, 医歯薬出版, 1984.

7) 井上恭一, 市田隆文: 原発性肝癌の非観的治療とその予後. 「肝硬変と肝腫瘍, 集学的診療をめざして」水戸勉郎他編, 298—311, 医学書院, 1984.

8) 井上恭一, 古谷田裕久, 市田隆文: 肝硬変合併例の食事療法. 「第18回糖尿病学の進歩, 糖尿病の療養指導」日本糖尿病学会編, 101—107, 診断と治療社, 1984.

9) 小島 隆, 松井俊二郎, 青山圭一, 佐々木 博: B型肝炎における肝細胞と浸潤リンパ球との interaction に関する免疫電顕による検討. 「肝と免疫—免疫性肝障害を中心に—」長島秀夫他編, 32—37, 医歯薬出版, 1984.

10) 市田隆文, 宮際 幹, 佐々木 博: 輸血と肝細胞癌の発生. 「ウイルス肝炎から肝細胞癌へ」服部信編, 633—640, 癌と化学療法社, 1984.

11) 市田隆文, 紺田健彦, 宮際 幹, 松井俊二郎, 宮林千春, 中野 護, 井上恭一, 佐々木 博: 成人肝 Focal nodular hyperplasia の電子顕微鏡的検討. 「肝細胞癌の類似病変」中島敏郎他編, 45—53, 中外医学社, 1984.

12) 松井俊二郎, 青山圭一, 康山俊学, 紺田健彦, 柴田 貢, 市田隆文, 小島 隆, 井上恭一, 佐々木 博: 慢性肝炎と肝硬変の診断における腹腔鏡検査の意義. 「腹腔鏡 Peritoneoscopy」亀田治男監修, N o. 3, 13—17, 日本医学館, 1984.

13) 青木照明, 田中三千雄他: 急性胃粘膜病変および消化性潰瘍出血に対する Ranitidine の止血効果. PROCEEDINGS RANITIDINE SYMPOSIUM TOKYO-1984, by Takemoto T. (Ed.), Excerpta Medica, 243—254, 1984.

14) 水島和雄, 田中三千雄他: Ranitidine の十二指腸に対する治療効果. PROCEEDINGS RANITIDINE SYMPOSIUM TOKYO-1984, by Takemoto T. (Ed.), Excerpta Medica, 141—153, 1984.

15) 岡崎幸紀, 田中三千雄他: Ranitidine の胃潰瘍に対する効果. PROCEEDINGS RANITIDINE SYMPOSIUM TOKYO-1984, by Takemoto T. (Ed.), Excerpta Medica, 131—140, 1984.

◆ 原 著

1) Aoyagi Y., Suzuki Y., Isemura M., Soga K., Ozaki T., Ichida T., Inoue K., Sasaki H. and Ichida F.: Differential reactivity of α -fetoprotein with lectins and evaluation of its usefulness in the diagnosis of hepatocellular carcinoma; Gann, 75: 809—815, 1984.

2) 佐々木 博, 市田文弘, 山本祐夫, 黒木哲夫, 井上恭一, 樋口清博, 康山俊学: 原発性胆汁性肝硬変全国調査集計結果(第3報). 厚生省特定疾患難治

性の肝炎調査研究班, 昭和57年度研究報告, 102—106, 1984.

3) 佐々木 博, 中野 護, 紺田健彦, 樋口清博: 各種肝疾患における流血中免疫複合体の抗原, 抗体の性状について, 厚生省特定疾患難治性の肝炎調査研究班, 昭和57年度報告, 134—136, 1984.

4) 佐々木 博, 井上恭一, 紺田健彦: 年令別H A抗体保有率の年次推移についての検討. 厚生省肝炎連絡協議会, 昭和57年度報告, 43—44, 1984.

5) 佐々木 博, 柴田 貢, 小島 隆, 井上恭一: A型急性肝炎の電子顕微鏡的研究—肝細胞障害の発生機序について, 厚生省肝炎連絡協議会, 昭和57年度報告, 51—54, 1984.

6) 井上恭一, 宮際 幹, 紺田健彦, 佐々木 博: 肝癌と肝硬変の診断: 生検, 現代医療 16: 2373—2378, 1984.

7) 井上恭一, 康山俊学, 古谷田裕久, 佐々木 博, 堀越葉子, 荻田善一: 各種肝疾患における肝組織中SODの電気泳動的解析, 日本臨床代謝学会記録(××) 200—201, 1984.

8) 田中三千雄, 若林泰文, 坂東 毅, 七沢 洋, 本間 保, 稲土修嗣, 野尻裕之, 渋谷 隆, 窪田芳樹, 島田一彦, 藤倉信一郎, 斎藤清二, 佐々木 博, 加藤弘巳, 土佐寛順, 龍村俊樹, 麓 耕平: 内視鏡像の客観的表示に関する研究(第1報)—色調の客観的表示を目的とした装置の開発とその性能について—, Gastroenterol. Endosc. 26: 514—525, 1984.

9) 田中三千雄, 斎藤清二: 色素内視鏡による胃潰瘍の治癒判定. 胃と腸 19: 987—992, 1984.

10) 田中三千雄, 藤倉信一郎: 十二指腸, 小腸内視鏡への色素法の応用, 日本臨床 42: 2206—2210, 1984.

11) 中野 護, 樋口清博, 清水幸裕, 紺田健彦, 井上恭一, 佐々木 博: 各種肝疾患における血中免疫複合体の臨床的意義およびB型肝炎におけるHBs 抗原, HBs 抗原含有免疫複合体の同定について. 肝臓 25: 168—176, 1984.

12) 斎藤清二, 渋谷 隆, 佐々木 博: ハムスター実験肝癌由来培養細胞系の樹立と性状. 日本消化器病学会雑誌 81: 133, 1984.

13) 藤倉信一郎: 終末回腸の Peyer 板に関する研究(第1報). 内視鏡検査例および剖検例における粘膜表面形態および組織学的検討. Gastroenterol. Endosc. 26: 1246—1261, 1984.

14) 藤倉信一郎, 田中三千雄, 若林泰文, 坂東 毅, 七沢 洋, 稲土修嗣, 窪田芳樹, 野尻裕之, 島

田一彦, 佐々木 博: 2チャンネル型 Ropeway 式小腸鏡(F I S-W)の開発. Gastroenterol. Endosc. 26: 548—557, 1984.

15) 柴田 貢, 小島 隆, 青山圭一, 紺田健彦, 井上恭一, 佐々木 博, 井本 勉: A型急性肝炎の肝細胞障害機序に関する形態学的研究, とくに電子顕微鏡的ならびに酵素抗体法による T cell subsets の検討. 肝臓. 25: 1—11, 1984.

16) 渋谷 隆, 斎藤清二, 稲土修嗣, 野尻裕之, 東 貢, 若林泰文, 坂東 毅, 本間 保, 田中三千雄, 佐々木 博: 膵管癒合不全症例における膵管像の検討, Gastroenterol. Endosc. 26: 1278—1284, 1984.

17) 若林泰文, 村山久夫, 小島豊雄, 味方正俊, 鈴木邦夫, 渡辺 裕, 立川信三, 田中三千雄, 藤倉信一郎, 佐々木 博: 色素染色法併用拡大内視鏡検査法が有用であった早期十二指腸癌の1例. Gastroenterol. Endosc. 26: 447—463, 1984.

18) 古谷田裕久, 南部修二, 清水幸裕, 宮林千春, 市田隆文, 中野 護, 井上恭一, 佐々木 博, 若木邦彦, 小泉富美朝: 急性白血病に合併した真菌性肝膿瘍の2剖検例. 肝臓. 25: 1474—1482, 1984.

19) 清水幸裕, 田中三千雄, 渋谷 隆, 藤倉信一郎, 佐々木 博, 穂苅市郎, 笠木徳三, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 術前に診断された虫垂腺腫の1例. 日本消化器病学会雑誌 81: 1628—1633, 1984.

20) 南部修二, 市田隆文, 小島 隆, 青山圭一, 松井俊二郎, 康山俊学, 紺田健彦, 樋口清博, 井上恭一, 佐々木 博, 吉村裕之, 粕川正夫: 免疫学的検査により診断し, 画像診断により興味ある推移を示した肝蛭症の1例. 肝臓. 25: 1489—1497, 1984.

21) 南部修二, 田中三千雄, 渋谷 隆, 藤倉信一郎, 佐々木 博, 広川慎一郎, 山田 明, 藤田敏雄: 胃衝突癌の1例. Gastroenterol. Endosc. 26: 1118—1125, 1984.

22) 堀越葉子, 荻田善一, 井上恭一, 佐々木 博, 今田屋章: 組織内SODの電気泳動的解析法. 日本臨床代謝学会記録(××), 202—203, 1984.

23) 長尾房大, 田中三千雄他: 上部消化管出血に対する ranitidine の止血効果の臨床的評価, 現代医療, 16: 1473—1484, 1984.

24) 鎌田武信, 田中三千雄他: 上部消化管出血に対する ranitidine の臨床的有用性の検討—消化性潰瘍による上部消化管出血を対象とした cimetidine との randomized controlled study—, 臨床成人病, 14: 859—868, 1984.

25) 竹本忠良, 田中三千雄他: ヒスタミンH₂—

受容体拮抗薬 ranitidine による潰瘍治癒症例の再発率について一比較臨床試験，一般臨床試験終了後の再発調査．臨床成人病，14：1011—1020，1984.

◆ 総 説

1) 佐々木 博：経口避妊薬による肝障害，肝胆膵 8：353—357，1984.

2) 佐々木 博，紺田健彦，柴田 貢：ウィルス肝炎の肝組織像：ウィルス肝炎の組織診断，治療 66：1585—1590，1984.

3) 井上恭一：原発性胆汁性肝硬変，MEDICO 15：6184—6188，1984.

4) 井上恭一，古谷田裕久：浮腫，腹水の治療，臨床医 10：2478—2469，1984.

5) 井上恭一，佐々木 博：肝胆膵疾患の薬物療法肝疾患，原発性胆汁性肝硬変，肝胆膵 9：969—975，1984.

6) 井上恭一，佐々木 博：自己免疫性肝疾患—ルポイド肝炎，PBC，「肝疾患—プライマリ・ケアにおける肝疾患—」日本医師会雑誌 92：126—137，1984.

7) 田中三千雄，若林泰文：蛋白漏出性腸症をめぐって，医学と薬学 11：1585—1592，1984.

8) 田中三千雄，藤倉信一郎：下痢患者をみたらどうするか，検査法—機能検査—，medicina 21：1421—1423，1984.

9) 田中三千雄，稲土修嗣：非特異性十二指腸炎，消化器科 1：271—280，1984.

10) 田中三千雄，若林泰文，稲土修嗣：腸上皮化生について，病態生理 3：980—986，1984.

11) 田中三千雄：内視鏡機能検査，Endoscopic Function Test (EFT)；Gastroenterol. Endoscopy. 26：2312—2317，1984.

12) 中野 護，佐々木 博：薬物療法の実際，肝硬変，診断と治療 72：48—51，1984.

13) 井上恭一：慢性肝炎，Diet Therapy 2：30—31，1983. (昭和58年度追加)

◆ 学会報告

1) 田中三千雄：宿題講演 十二指腸と内視鏡，第27回日本消化器内視鏡学会総会，1984，5，旭川.

2) 藤倉信一郎，田中三千雄：シンポジウム「消化器内視鏡の普及と隘路を探る」小腸内視鏡検査の普及をはばむもの，第28回日本消化器内視鏡学会総会，1984，11，東京.

3) 紺田健彦，市田隆文：シンポジウム「慢性肝炎の腹腔鏡診断—経時的変化と非A，非B型肝炎を中心に—」非B型およびB型慢性肝炎における腹腔鏡所見の差異についての検討，第28回日本消化器内

視鏡学会総会，1984，11，東京.

4) 樋口清博，井上恭一：シンポジウム「がんと免疫」原発性肝癌および肝硬変におけるNK活性の検討，昭和59年度東海・北陸合同地方会，1984，11，富山.

5) 七沢 洋，田中三千雄，佐々木 博，米川元樹，中沢郁生，西坂 剛：シンポジウム「光化学療法の問題点とその対策」低出力を用いた光化学療法の研究，第5回日本レーザー医学会大会，1984，11，札幌.

6) 本間 保，田中三千雄：ワークショップ「消化器内視鏡による形態と機能の計測」胃・十二指腸における粘膜の色調と微細形態の関連性，第28回日本消化器内視鏡学会総会，1984，11，東京.

7) 七沢 洋，西坂 剛：ワークショップ「内視鏡的マイクロ波凝固法の基礎と臨床」内視鏡的マイクロ波凝固法の基礎的研究，第28回日本消化器内視鏡学会総会，1984，11，東京.

8) 藤倉信一郎：実技ワークショップ「色素内視鏡」十二指腸・小腸における色素内視鏡検査法，第28回日本消化器内視鏡学会総会，1984，11，東京.

9) Sasaki H., Kojima T., Matsui S., Aoyama K., Higuchi K. and Inoue K.: Interaction of lymphocytes bearing hepatitis B antigen: Ultrastructural investigation of target antigen and t cell subsets by means of peroxidase antibody technique, International Association for the Study of the Liver, 1984, 9, Berne.

10) Aoyagi Y., Honma A., Suzuki Y., Isemura M., Ichida T., Sasaki H. and Ichida F.: Measurement of molecular variants of human α -fetoprotein in different activity with lectins of hepatocellular carcinoma, International Association for the Study of the Liver, 1984, 9, Berne.

11) Inoue K., Ichida T., Miyagiwa M., Konda T. and Sasaki H.: Efficacy of transcatheter arterial embolization (TAE) therapy for unresectable hepatocellular carcinoma (HCC), X V I I the International Congress of Internal Medicine 1984, 10, Kyoto.

12) Kojima T. and V. J. Desmet: Hepatitis B core antigen (HBcAg) in liver cell plasma membrane: Immunoelectron microscopic study, International Association for the Study of the Liver (IASL), 1984, 9, Bern.

13) Soga K., Takagi H., Kawaguchi H.,

Kamimura T., Ichida F. and Ichida T. Hepatic arterial embolization and chemotherapy in patients with inoperable hepatocellular carcinoma, X V I I the International Congress of Internal Medicine, 1984, 10, Kyoto.

14) 井上恭一, 紺田健彦, 東 貢, 樋口清博, 小島 隆, 中野 護, 佐々木 博: ポスターセッション B 型肝炎ワクチンの臨床試験および感染予防効果に関する研究. 第81回日本内科学会講演会, 1984, 4, 福岡.

14) 斎藤清二, 渋谷 隆, 若林泰文, 南部修二, 松井俊二郎, 田中三千雄, 井上恭一, 佐々木 博, 三輪淳夫, 窪田芳樹: ポスターセッション ハムスター実験肝癌可移植モデルに関する研究—第1報, 同種移植系および細胞培養系の樹立—. 第70回日本消化器病学会総会, 1984, 3, 東京.

16) 藤倉信一郎, 田中三千雄, 舟木 淳, 島田一彦, 佐々木 博, 窪田芳樹: 胃・十二指腸・大腸における弧立型リンパ濾胞の超微細構造の検討. 第70回日本消化器病学会総会, 1984, 3, 東京.

17) 稲土修嗣, 田中三千雄, 坂東 毅, 若林泰文, 本間 保, 野尻裕之, 島田一彦, 藤倉信一郎, 佐々木 博: ポスターセッション 十二指腸潰瘍周辺発赤部位と十二指腸粘膜における形態と機能の対比検討. 第70回日本消化器病学会総会, 1984, 3, 東京.

18) 康山俊学, 古谷田裕久, 井上恭一, 佐々木 博: 肝組織中 Cu, Zn-SOD, Mn-SOD 活性について第26回日本消化器病学会大会, 1984, 10, 千葉.

19) 松井俊二郎, 宮際 幹, 青山圭一, 康山俊学, 紺田健彦, 市田隆文, 井上恭一, 佐々木 博: 細小肝細胞癌の診断における血管造影法の有用性について第26回日本消化器病学会大会, 1984, 10, 千葉.

20) 渋谷 隆, 西村信行, 山崎国男, 佐々木 博, 斎藤清二: ハムスター肝癌癌性腹膜炎モデルに対する各種抗癌剤の効果. 第26回日本消化器病学会大会, 1984, 10, 千葉.

21) 斎藤清二, 渋谷 隆, 西村信行, 山崎国男, 井上恭一, 佐々木 博: 実験肝癌可移植腫瘍における分泌粘液の性状. 日本消化器病学会第61回第54回合同地方会, 1984, 11, 富山.

22) 渋谷 隆, 西村信行, 山崎国男, 田中三千雄, 佐々木 博, 斎藤清二: 膵外分泌機能検査としての PFD 試験と PABA 吸収試験併用の意義. 第55回日本消化器病学会北陸地方会, 1984, 12, 金沢.

23) 本間 保, 田中三千雄, 稲土修嗣, 野尻裕

之, 東 貢, 康山俊学, 井上恭一, 佐々木 博: 肝硬変症例における上部消化器管の粘膜血流に関する検討. 第53回日本消化器病学会北陸地方会, 1984, 6, 福井.

24) 樋口清博, 中野 護, 清水幸裕, 青山圭一, 松井俊二郎, 市田隆文, 小島 隆, 井上恭一, 佐々木 博: 肝硬変症例における NK 活性低下機序の研究—OK シリーズ単クローン性抗体による検索—. 第20回日本肝臓学会総会, 1984, 7, 東京.

25) 松井俊二郎, 青山圭一, 小島 隆, 樋口清博, 中野 護, 井上恭一, 佐々木 博: B 型および非 B 型慢性肝炎の肝細胞障害機序に関する免疫組織学的研究: 単クローン性抗体を用いた T cell subsets および Leu 7 陽性細胞の検討. 第20回日本肝臓学会総会, 1984, 7, 東京.

26) 紺田健彦, 小島 隆, 東 貢, 樋口清博, 中野 護, 井上恭一, 佐々木 博, 辻 孝夫, 井本 勉: B 型急性および慢性肝炎患における HBsAg/IgM complex および Albumin Receptor の感染指標としての意義について. 第20回日本肝臓学会総会, 1984, 7, 東京.

27) 青山圭一, 松井俊二郎, 宮林千春, 樋口清博, 小島 隆, 井上恭一, 佐々木 博: 原発性胆汁性肝硬変における肝組織内浸潤リンパ球の免疫組織化学的検討. 第19回日本肝臓学会西部会, 1984, 12, 鹿児島.

28) 宮際 幹, 松井俊二郎, 青山圭一, 康山俊学, 紺田健彦, 市田隆文, 井上恭一, 佐々木 博: 細小肝癌の診断と各種治療法の予後成績. 第19回日本肝臓学会西部会, 1984, 12, 鹿児島.

29) 井本 勉, 松本秀敏, 松井俊二郎, 小島 隆, 佐々木 博, 福田善弘, 津田文男, 真弓 忠: 肝炎ウイルスの混合感染例の臨床病理学的検討. 第19回日本肝臓学会西部会, 1984, 12, 鹿児島.

30) 坂東 毅, 七沢 洋, 島田一彦, 野尻裕之, 田中三千雄, 佐々木 博: 超音波検査による胃病変の描写—経腹壁的アプローチと経内視鏡的アプローチの問題点—. 第27回日本消化器内視鏡学会総会, 1984, 5, 旭川.

31) 本間 保, 田中三千雄, 坂東 毅, 若林泰文, 稲土修嗣, 野尻裕之, 島田一彦, 藤倉信一郎, 佐々木 博: 電解式組織血流量計による十二指腸粘膜血流量の検討. 第27回日本消化器内視鏡学会総会, 1984, 5, 旭川.

32) 七沢 洋, 田中三千雄, 佐々木 博, 米川元樹, 葛西洋一, 西坂 剛, 鹿島研司, 九鬼 穰, 町田晴彦: ファイバー回折格子付拡大内視鏡の研究.

第27回日本消化器内視鏡学会総会, 1984, 5, 旭川.

33) 井田一夫, 田中三千雄, 本間 保, 七沢 洋, 佐々木 博, 坂本 隆, 麓 耕平, 藤巻雅夫: 改良型の消化管粘膜色調測定用ファイバースコープ (MT-III) の性能に関する検討. 第27回消化器内視鏡学会総会, 1984, 5, 旭川.

34) 舟木 淳, 若林泰文, 稲土修嗣, 窪田芳樹, 島田一彦, 藤倉信一郎, 田中三千雄, 佐々木 博: 十二指腸の陥凹型リンパ小節に関する内視鏡的検討. 第27回日本消化器内視鏡学会総会, 1984, 5, 旭川.

35) 西坂 剛, 鹿島研司, 九鬼 穰, 米川元樹, 葛西洋一, 七沢 洋, 田中三千雄, 中沢郁生, 並木正義: 1.32 μ 線レーザーコアグレーターの研究—小基礎的研究—. 第27回日本消化器内視鏡学会総会, 1984, 5, 旭川.

36) 中沢郁生, 並木正義, 七沢 洋, 田中三千雄, 米川元樹, 葛西洋一, 鹿島研司, 九鬼 穰, 西坂 剛: 1.23 μ 線レーザーコアグレーターの研究—(2)内視鏡的検討—. 第27回日本消化器内視鏡学会総会, 1984, 5, 旭川.

37) 稲土修嗣, 田中三千雄, 若林泰文, 坂東 毅, 本間 保, 野尻裕之, 島田一彦, 藤倉信一郎, 佐々木 博: 十二指腸炎の内視鏡診断基準に関する考察. 第28回日本消化器内視鏡学会総会, 1984, 11, 東京.

38) 野尻裕之, 七沢 洋, 田中三千雄, 佐々木 博: アルゴンレーザーによる三次元内視鏡計測装置の評価. 第28回日本消化器内視鏡学会総会, 1984, 11, 東京.

39) 米川元樹, 西坂 剛, 竹本忠良, 福地創太郎, 田中三千雄, 七沢 洋, 木村 健, 中沢郁生, 平塚秀雄, 加藤賢一, 金井源一, 町田晴彦: 石英ファイバーイメージガイドの内視鏡応用. 1. 基礎的検討. 第28回日本消化器内視鏡学会総会, 1984, 11, 東京.

40) 田中三千雄, 舟木 淳, 七沢 洋, 佐々木 博, 加藤弘己, 龍村俊樹, 土佐 寛: 三次元内視鏡計測装置により消化管の形態把握. 第43回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 1984, 6, 福井.

41) 野尻裕之, 田中三千雄, 井田一夫, 坂東 毅, 本間 保, 島田一彦, 渋谷 隆, 藤倉信一郎, 佐々木 博, 斎藤清二: 食道, 胃, 小腸, 大腸の粘膜色調に関する検討. 第43回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 1984, 6, 福井.

42) 野尻裕之, 七沢 洋, 本間 保, 稲土修嗣, 渋谷 隆, 島田一彦, 藤倉信一郎, 田中三千雄, 佐々木 博: アルゴンレーザー・グレーティング装置を

象達した拡大内視鏡の使用経験. 第44回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 1984, 12, 金沢.

43) 窪田芳樹, 小林 繁, 田中三千雄, 佐々木 博: プロテインA・金コロイド法によるヒ十二指腸モチリン産生細胞の同定. 第16回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1984, 9, 大阪.

44) 宮林千春, 市田隆文, 松井俊二郎, 井上恭一, 佐々木 博: 原発性胆汁性肝硬変における胆管上皮細胞と基底膜の電子顕微鏡的検討. 第16回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1984, 9, 大阪.

45) 樋口清博, 中野 護, 清水幸裕, 青山圭一, 康山俊学, 斎藤清二, 井上恭一, 佐々木 博: Countercurrent centrifugal elutriation による人NK活性の検討. 第12回日本臨床免疫学会総会, 1984, 6, 東京.

46) 清水幸裕, 中野 護, 樋口清博, 井上恭一, 佐々木 博: Percoll density gradient 法と countercurrent centrifugal elutriation 法によるTリンパ球サブセット分離の試み. 第12回日本臨床免疫学会総会, 1984, 6, 東京.

47) 七沢 洋, 田中三千雄, 佐々木 博, 米川元樹, 中沢郁生, 西坂 剛: 光化学治療の基礎的研究—培細胞におけるレーザー光パワー密度と殺細胞効果の関係—. 第22回日本癌治療学会総会, 1984, 9, 東京.

48) 米川元樹, 葛西洋一, 西坂 剛, 七沢 洋, 中沢郁夫: 低出力光による光化学治療の実験的研究. 第22回日本癌治療学会総会, 1984, 9, 東京.

49) 古谷田裕久, 康山俊学, 井上恭一, 佐々木 博: ヒト肝 Alcohol dehydrogenase の電気泳動法による解析の試み—肝生検材料を用いて—. 第19回日本アルコール医学会総会, 1984, 9, 浜松.

50) 七沢 洋, 田中三千雄, 佐々木 博, 米川元樹, 中沢郁生, 西坂 剛, 小沢哲磨: 学生実習中に発生した Pulsed Nd-YAG laser による網膜損傷事故の一例. 第5回日本レーザー医学会大会, 1984, 11, 札幌.

51) 七沢 洋, 田中三千雄, 佐々木 博, 米川元樹, 中沢郁生, 西坂 剛: Total Internal Reflection Fluorescence (TIRE) 法を応用した選択的蛍光測定. 第5回日本レーザー医学会大会, 1984, 11, 札幌.

52) 米川元樹, 葛西洋一, 西坂 剛, 九鬼 穰, 鹿島研司, 七沢 洋: レーザー光化学治療の基礎的検討. 第84回日本外科学会総会, 1984, 3, 京都.

53) 米川元樹, 葛西洋一, 西坂 剛, 九鬼 穰, 鹿島研司, 七沢 洋, 杉野芳宏: Water jet による肝切除法の検討. 第84回日本科学会総会, 1984, 3,

京都.

54) 森田 英, 宮際 幹, 康山俊学, 松井俊二郎, 井上恭一, 佐々木 博, 泉野 潔, 飯田博行, 増田信二, 三輪淳夫: 急性腎不全を伴ったPNHの1剖検例. 日本内科学会第134回東海第125回北陸合同地方会, 1984, 11, 富山.

55) 舟木 淳, 紺田健彦, 松井俊二郎, 島田一彦, 樋口清博, 井上恭一, 佐々木 博: M蛋白血症を伴った Sjögren 症候群の1例. 第38回北陸医学会総会内科分科会, 1984, 9, 金沢.

56) 井田一夫, 古谷田裕久, 市田隆文, 青山圭一, 松井俊二郎, 中野 護, 井上恭一, 佐々木 博, 北川正信: M蛋白血症および, 高脂血症を伴った肝細胞癌の1剖検例. 第122回日本内科学会北陸地方会, 1984, 3, 金沢.

57) 矢崎明彦, 風間嘉晶, 松井俊二郎, 宮林千春, 康山俊学, 市田隆文, 井上恭一, 佐々木 博, 三輪淳夫, 高野治雄: 胸骨腫張を初発症状とした未分化型胆管細胞癌の1例. 第123回日本内科学会北陸地方会, 1984, 6, 福井.

58) 藤倉信一郎, 田中三千雄, 佐々木 博, 宮崎あゆみ, 谷 守正, 麓 耕平: 若年性ポリープの1例. 第53回日本消化器病学会北陸地方会, 1984, 6, 福井.

59) 山崎国男, 渋谷 隆, 西村信行, 稲土修嗣, 本間 保, 野尻裕之, 田中三千雄, 佐々木 博, 斎藤清二: 急性膵炎を契機に発見された胆嚢腺筋症の1例. 第53回日本消化器病学会北陸地方会, 1984, 6, 福井.

60) 森田 英, 藤倉信一郎, 若林泰文, 坂東毅, 稲土修嗣, 野尻裕之, 渋谷 隆, 島田一彦, 田中三千雄, 佐々木 博: Ischemic colitis と Ischemic coronary attack を同時発症した1例. 第53回日本消化器病学会北陸地方会, 1984, 6, 福井.

61) 舟木 淳, 市田隆文, 風間嘉晶, 古谷田裕久, 松井俊二郎, 南部修二, 紺田健彦, 中野 護, 井上恭一, 佐々木 博, 伊藤 博: Adenomatous hyperplasia を認めたアルコール性肝硬変の1例. 第53回日本消化器病学会北陸地方会, 1984, 6, 福井.

62) 西村信行, 渋谷 隆, 能沢明宏, 山崎国男, 田中三千雄, 佐々木 博, 斎藤清二: 内視鏡的乳頭切開および経十二指腸内視鏡生検により診断された総胆管結石合併総胆管癌の1例. 日本消化器病学会第61回東海第54回北陸合同地方会, 1984, 11, 富山.

63) 宮木征美, 本間 保, 高嶋清次, 青山圭一, 紺田健彦, 井上恭一, 佐々木 博, 伊藤 博, 三輪

淳夫, 増田信二, 若木邦彦, 中野 護: 発症後12年目に肝転移をきたした腔線維筋肉腫の1例. 日本消化器病学会第61回東海第54回北陸合同地方会, 1984, 11, 富山.

64) 市原和俊, 松井俊二郎, 西村信行, 宮際幹, 紺田健彦, 田中三千雄, 井上恭一, 佐々木 博, 永井 晃, 津田基晴, 山本恵一, 小泉富美朝: 肝内に肉芽腫の多発をみた門脈血栓症の1例. 第55回日本消化器病学会北陸地方会, 1984, 12, 金沢.

65) 井本 勉, 織野彬雄, 松本秀敏, 福田善弘, 伊保澄子, 井上恭一: HBVとEBVの同時感染により honeymoon hepatitis を起こしたが IgM 型 HBc 抗体は検出されず, かつ無症候性 HBs 抗原キャリアに移行した1例. 第41回日本消化器病学会近畿地方会, 1984, 9, 京都.

66) 森田 英, 青山圭一, 松井俊二郎, 樋口清博, 小島 隆, 井上恭一, 佐々木 博, 浅香充宏, 水村泰治, 伊藤 博: 経過中胆嚢癌を合併した原発性胆汁性肝硬変症の1例. 第29回日本肝臓学会西部会, 1984, 12, 鹿児島.

67) 高橋 均, 山下正己, 足立幸彦, 諏訪雅男, 長峯保郎, 榎本雅一, 井上博司, 南野達夫, 上嶋繁, 尾崎 潔, 山本俊夫, 手塚 正, 井上恭一: 特異は皮膚病変を観察し得た Gianotti 病の1例. 第19回日本肝臓学会西部会, 1984, 12, 鹿児島.

68) 若林泰文, 田中三千雄, 坂東 毅, 本間 保, 渋谷 隆, 青山圭一, 島田一彦, 藤倉信一郎, 佐々木 博, 斎藤清二: “開口部.” が3箇所存在する十二指腸の巨大粘液分泌型ポリープ (mucus secreting polyp) の1例. 第27回日本消化器内視鏡学会総会, 1984, 5, 旭川.

69) 井本 勉, 織野彬雄, 田中三千雄, 藤倉信一郎, 塚田英昭, 三宅健夫: 胃十二指腸のレリーフの消失を認め一見硬性癌を疑わせる内視鏡像を呈した原発性アミロイドーシスの1例. 第27回日本消化器内視鏡学会総会, 1984, 5, 旭川.

70) 島田一彦, 藤倉信一郎, 若林泰文, 坂東毅, 稲土修嗣, 野尻裕之, 渋谷 隆, 田中三千雄, 佐々木 博: 拡大内視鏡で観察した直腸 Angiodysplasia の1例. 第43回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 1984, 6, 福井.

71) 稲土修嗣, 若林泰文, 田中三千雄, 佐々木 博, 北川正信, 斎藤清二, 奥田治爾: 15回にわたる内視鏡的ポリペクトミーとバイオプシーで完全に切除しえたATPの1例. 第43回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 1984, 6, 福井.

72) 月城孝志, 藤倉信一郎, 本間 保, 稲土修

嗣, 渋谷 隆, 野尻裕之, 島田一彦, 田中三千雄, 佐々木 博, 西邨啓吾: Ropeway 式小腸鏡によって診断し得た出血性小腸潰瘍の1例. 第44回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 1984, 12, 金沢.

73) 南部修二, 清水幸裕, 康山俊学, 藤倉信一郎, 松井俊二郎, 井上恭一, 佐々木 博, 海木玄郷, 高久 晃, 諸橋正昭, 若木邦彦: 多彩な症状を来した悪性リンパ腫の1剖検例. 日本血液学会昭和59年度東海北陸合同地方会, 1984, 11, 富山.

74) 風間嘉晶, 近藤信一, 丹羽正弘, 桜川信男, 能沢明宏, 井上恭一, 佐々木 博, 貝沼知男: VIII R Ag に比較してVIII C 活性の著増を認めた von Willebrand 病の1例. 日本血液学会昭和59年度東海・北陸合同地方会, 1984, 11, 富山.

75) 榊原年宏, 笠木徳三, 増山喜一, 新井英樹, 佐伯俊雄, 桐山誠一, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 森田 英, 藤倉信一郎, 若木邦彦: 浅い潰瘍の多発をみた Intestinal Behcet の1例. 第38回北陸医学会総会 外科分科会, 1984, 9, 金沢.

76) 若林泰文, 渋谷 隆, 清水幸裕, 東 貢, 本間 保, 樋口清博, 市田隆文, 中野 護, 井上恭一, 佐々木 博: Dysplastic cell を認めた HBs 抗原陽性胆管細胞癌の1例. 第15回北陸肝胆道疾患懇話会, 1984, 3, 金沢.

77) 舟木 淳, 市田隆文, 風間嘉晶, 古谷田裕久, 松井俊二郎, 南部修二, 紺田健彦, 中野 護, 井上恭一, 佐々木 博: Adenomatous hyperplasia を認めたアルコール性肝硬変の1例. 第15回北陸肝胆道疾患懇話会, 1984, 3, 金沢.

78) 矢崎明彦, 風間嘉晶, 松井俊二郎, 宮林千春, 青山圭一, 康山俊学, 市田隆文, 中野 護, 井上恭一, 佐々木 博, 三輪淳夫, 高野治雄: 胸骨腫脹を初発症状とした未分化型胆管細胞癌の1例. 第15回北陸肝胆道疾患懇話会, 1984, 3, 金沢.

79) 東 貢, 紺田健彦, 樋口清博, 中野 護, 井上恭一, 佐々木 博: IgM 型 HBc 抗体の臨床的意義. 第5回 R I 実験施設利用者研究発表会, 1984, 3, 富山.

80) 宮際 幹, 東 貢, 清水幸裕, 松井俊二郎, 樋口清博, 中野 護, 井上恭一, 佐々木 博: BH-AC・AMP療法により完全寛解に入った急性骨髄性白血病の1例. アクラシノン学術講演会, 1984, 6, 富山.

81) 藤倉信一郎, 田中三千雄, 若林泰文, 坂東毅, 本間 保, 稲土修嗣, 渋谷 隆, 野尻裕之, 島田一彦, 佐々木 博, 斎藤清二: 消化性潰瘍に対するシメチジンの "B. I. D. 療法の臨床評価につ

いて. 第2回富山県消化性潰瘍研究会, 1984, 6, 富山.

82) 康山俊学, 古谷田裕久, 井上恭一, 佐々木 博, 柴田 太, 荻田善一: ヒト肝組織内 SOD 活性について一とくに肝生検組織像との対比. 第2回スーパーオキシド研究会, 1984, 6, 富山.

83) 稲土修嗣, 野尻裕之, 島田一彦, 藤倉信一郎, 田中三千雄, 佐々木 博: 部位別にみた十二指腸絨毛形態の特徴. 第15回消化吸収研究会, 1984, 7, 東京.

84) 本間 保, 田中三千雄, 稲土修嗣, 野尻裕之, 島田一彦, 藤倉信一郎, 佐々木 博: 肝硬変症における十二指腸の粘膜血流の検討. 第二回消化器相關研究会, 1984, 8, 京都.

85) 南部修二: 多彩な症状を来した悪性リンパ腫の一部検例. 第1回リンパ系増殖性疾患検討会, 1984, 9, 金沢.

86) 宮木征美: メトトレキセートによると思われる骨髄抑制をきたした胃原発悪性リンパ腫の一部検例. 第1回リンパ系増殖性疾患検討会, 1984, 9, 金沢.

87) 野尻裕之, 田中三千雄, 本間 保, 稲土修嗣, 島田一彦, 藤倉信一郎, 佐々木 博: 消化性潰瘍と生体防御反応. 生体防御講演会, 1984, 10, 富山.

88) 杉山和子, 野尻裕之, 西村信行, 山崎国男, 本間 保, 渋谷 隆, 稲土修嗣, 島田一彦, 青山圭一, 藤倉信一郎, 田中三千雄, 佐々木 博, 斎藤清二: 腸管囊腫様気腫を伴った intestinal pseudoobstruction の1例. 第5回富山消化器病研究会, 1984, 10, 富山.

89) 元尾南洋, 東 貢, 宮際 幹, 青山圭一, 紺田健彦, 康山俊学, 松井俊二郎, 井上恭一, 佐々木 博, 伊藤 博: 腹部超音波検査スクリーニングにより見いだされた肝血管腫の1例. 第5回富山消化器病研究会, 1984, 10, 富山.

90) 七沢 洋, 西坂 剛: 拡大内視鏡付きファイバースコープの臨床応用. 第5回 I C M P (研究会), 1984, 11, 東京.

91) 大森聖一, 康山俊学, 森田 英, 藤倉信一郎, 田中三千雄, 井上恭一, 佐々木 博, 斎藤清二: Acromegaly と慢性肝炎を伴った結腸癌肝転移の一長期生存例. 第9回制癌問題研究会, 1984, 11, 金沢.

92) 井上恭一: シンポジウム「原発性胆汁性肝硬変」本邦における P B C の実態. 第4回肝臓シンポジウム, 1984, 12, 京都.

93) 市田隆文, 宮際 幹, 清水幸裕, 宮林千春, 松井俊二郎, 樋口清博, 中野 護, 井上恭一, 佐々木博: PLC/DRF/5細胞 (in vitro) とヒト肝細胞癌 (in vivo) の電子顕微鏡的検討. 第1回ヒト細胞研究会, 1984, 12, 東京. (昭和58年度追加)

◆ その他

1) Sasaki H., Kojima T., Matsui S., Aoyama K., Higuchi K. and Inoue K.: Interaction of lymphocytes with hepatocytes bearing hepatitis B antigen: Ultra-structural investigation of target antigen and T cell subsets by means of peroxidase antibody technique, *Hepatology*, 4: 781, 1984.

2) Kojima T. and V. J. Desmet: Hepatitis B core antigen (HBcAg) in liver cell plasma membrane: Immunoelectron microscopic study; *Hepatology* 4: 780, 1984.

3) Aoyagi Y., Honma A., Suzuki Y., Isemura M., Ichida T., Sasaki H. and Ichida F.: Measurement of molecular variants of human α -fetoprotein in different reactivity with lectins and its use in the diagnosis of hepatocellular carcinoma; *Hepatology* 4: 795, 1984.

4) Nanasawa H., Tanaka M., Yonekawa M., Kasai Y., Nishisaka T., Kashima K. and Kuki J.: Experimental studies of Nd: YAG maser coagulation and their comparison with microwave coagulation. *日本レーザー医学会誌* 4: 239—240, 1984.

5) Nanasawa H., Tanaka M., Yonekawa M., Kasai Y., Nishisaka T., Kashima K. and Kuki J.: Experimental studies of laser photoradiation therapy(1)---Change of HpD characteristics by laser irradiation--: *日本レーザー医学会誌* 4: 55—56, 1984.

6) 佐々木 博: δ 抗原. *医学のあゆみ* 131: 215—216, 1984.

7) 土屋雅春, 森 実敏, 西岡幹夫, 名倉 宏, 長島秀夫, 佐々木 博, 山田剛太郎, 松井俊二郎, 織田正也: 肝障害における血中および肝内浸潤リンパ球サブセットをめぐって (Discussion). 「消化器と免疫」No 13. 土屋雅春監修 247—271, 1984.

8) 谷川久一, 鈴木司郎, 吉沢浩司, 佐々木 博: ウイルス肝炎をめぐって. *medico* 15: 23—31, 1984.

9) Fujikura S., Tanaka M., Inatsuchi S., Nojiri H., Kubota Y., Shimada K. and Sasaki

H.: Ultrastructural study of peyefs patch, *J. Clin. Electron Microscopy* 16: 564—565, 1983. (関和58年度追加)

10) Shibata M., Kojima T., Aoyama K., Matsui S., Konda T., Ichida T., Inoue K. and Sasaki H.: Morphologic studies on the mechanism of hepatocellular injury in type A acute viral hepatitis. ---Immune electron microscopic observations: *J. Clin. Electron Microscopy* 16: 462, 1983. (昭和58年度追加)

11) Kubota Y., Inatsuchi S., Nojiri H., Shimada K., Fujikura S., Kojima T., Tanaka M. and Sasaki H.: Ultrastructure of the duodenal epithelium in endoscopically diagnosed duodenitis patients: *J. Clin. Electron Microscopy* 16: 943, 1983. (昭和58年度追加)

皮 膚 科 学

教	授	諸	橋	正	昭
講	師	池	田	和	夫
講	師	高	橋	省	三
講	師	須	藤	成	章
助	手	宮	入	宏	之
助	手	小	西	可	南
助	手	檜	垣	修	一
助	手	春	木	智	江
助	手	斉	藤	明	宏
	文部技官	松	永	憲	治

◆ 著 書

1) 諸橋正昭: 脂腺の構造と機能. 「人体組織学第2巻」小川和朗他編, 326—339, 朝倉書店, 1984.

2) 諸橋正昭: 皮膚付属器疾患. 「エッセンシャルレクチャー皮膚科」池田重雄編, 259—272, メジカルビュー社, 1984.

3) 諸橋正昭: 電顕像からみた立毛筋の構造と機能. 「人体組織学第2巻」小川和朗他編, 323—326, 朝倉書店, 1984.

4) 諸橋正昭: 脱毛症. 「今日の治療指針. 1984年度版」石山俊二他編, 587, 医学書院, 1984.

5) 諸橋正昭: 鱗状毛包角化症 (土肥). 「講談社皮膚科診断治療大系第2巻」福代良一他編, 75, 講談社, 1984.

◆ 原 著

1) 諸橋正昭, 高橋省三, 鍛冶友昭: 肉芽腫性口唇炎. *皮膚病診療*, 6: 921—924, 1984.